

【にかほ】つてこんなにいいところ

私たちが住んでいるまち「にかほ市」がどんなイメージに映っているのか、どんな魅力があるのか、ことし訪れた著名人たちの滞在の様子や講演、インタビューなどから紹介します。

米村でんじろう氏（52歳）

千葉県出身のサイエンスプロデューサー。その活動は多岐にわたり、バラエティ番組などで科学の面白さをいろいろな実験で伝えており、年に何度か当市のフェエライト子ども科学館を訪れ、実験教室を開催しています。



（11月18日）

*にかほ市には何回か来られていましたが、率直な印象は？

仁賀保町当時、巴町長が初めて科学技術館に来館し、話された時に教育に対する関心の高さ、特に科学技術に対する関心の高さを感じた頃が懐かしいです。

初めは、秋田の仁賀保と聞いて、一般的に日本のどこにでもある田舎まちかなという感じでしたが、街並みはきれいで少し

あか抜けしていて、田舎くさくない街、整然としてきれいに整っている印象です。

公共施設として科学館が設置され、維持管理されていることはすごいことですよ。また、飛良泉などの建物からは伝統的な霧笛気も感じますし、TDKがあり、科学技術の面も含め、文

化的な香りがします。子どもたちに對する思いや科学に対する関心の高さを感じるまちです。

また、国際交流もしているの

*にかほ市の子どもたちをどう感じましたか？

実験教室などの様子から、参加している親御さんは熱心で気さくなあと感じました。

子どもたちは、明るく素直で気さくですが、少しシャイなところが見受けられることが印象に残っています。

李登輝氏（84歳）

現在の台北県三芝郷出身。中華民国の政治家・農業経済学者。前台湾總統（1988年～2000年）。当市には、芭蕉「おぐのほそ道」ゆかりの地、虹満寺を家族とともに訪れ来市。

（6月6日）

*「李登輝訪日・日本国へのメツセージ 2007旅と講演の全記録」から



境内にある芭蕉の銅像を見た後、旧参道から象潟の跡を見学しました。象潟は昔、たくさん島を浮かべた湖でしたが、文化元年（1804）の地震で一帯は隆起して陸となり、島々は現在、水田の中に浮かんでいます。それらの経過を市職員が説明すると李前總統は「そうですか」とうなずき、じつとご覧になつておりました。

虹満寺内で熊谷忍住職と歓談され、昼食をとられた後、李前總統は寺宝である「旅客集」に揮毫されました。

「旅客集」は象潟を訪れた文人墨客の和歌、漢詩、俳句等が書かれた筆跡集で、江戸時代から脈々と伝わっているものです。

の間柄で、李前總統とも交友がある司馬連太郎氏の筆跡もあり、とても感激されておりました。

その後、熊谷住職の解説で、虹満寺に遺る芭蕉の真筆とされる「象潟自詠懐紙」、象潟の旧景が描かれた「象潟古景図」の2点の掛け軸をご覧になられ、虹満寺を後にしました。

◆◆◆◆◆

水谷修氏（51歳）

神奈川県横浜市出身の児童福祉運動家、教育評論家。元高等学校教諭。少年少女の非行や薬物依存症問題に尽力し、夜間に繁華街をパトロールすることから「夜回り先生」との異名を持つ。当市には象潟ロー・タリーケーブ創立40周年記念講演会の講師として来市。

◆◆◆◆◆

*象潟ロータリークラブ創立40周年記念講演会前の歓談から

（11月17日）

私は、高校まで山形県南陽市で育ったので、にかほ市のような環境にはとても親近感を覚えます。

これまで鳥海山と九十九島は通りすがりに何度も見てるし、鳥海山には矢島口から3回登山したことがあります。でも、今日の鳥海山と九十九島の眺めは最高でした。

星に食べた弁当にはハタハタとイクラが入つていて、食べ物もおいしいところですね。

講演の依頼を受けてから出会つた方々の人情も感じられ、温かいまちです。

にかほ市内で私は夜回りしたことではありませんが、自然豊かでとてもいい環境ですから、子どもたちもきっと素直なのではないでしょうか。でも、油断しないでください。

◆◆◆◆◆

笠井信輔氏（44歳）

東京都出身のフジテレビアナウンサー。今年の7月からはアナウンス室専任部長。当市には、男女共同参画講演会の講師として来市。

◆◆◆◆◆

*象潟ロータリークラブ創立40周年記念講演会から

（10月20日）

にかほ市は食べ物がおいしいところと聞いていたので、すぐ帰らなければいけないのが残念です。

対話劇を拝見しまして、出演者も観客も、どちらもにかほ市民の方々のようですが、セリフと一緒に呼応する笑い声に温かい心の交流を感じました。

出演者は、その家の父さんだと、誰さんの奥さんだと、大体の観客の皆さん知っているように感じられました。

現在、多くの日本人が忘れているような、隣近所の温かい心のふれあいがとても新鮮に映りました。

◆◆◆◆◆

*男女共同参画講演会から

（10月20日）

にかほ市は食べ物がおいしいところと聞いていたので、すぐ

に帰らなければいけないのが残念です。

対話劇を拝見しまして、出演者も観客も、どちらもにかほ市民の方々のようですが、セリフと一緒に呼応する笑い声に温かい心の交流を感じました。

出演者は、その家の父さんだと、誰さんの奥さんだと、大体の観客の皆さん知っているように感じられました。

現在、多くの日本人が忘れているような、隣近所の温かい心のふれあいがとても新鮮に映りました。

◆◆◆◆◆

*スポーツ講演会から

（7月29日）

にかほ市は合宿するにはうつつけの所です。自然もいっぱいだし、静かだし、プレーに集中できます。我々が望むのはいいグラウンド施設があるかな

です。これがデコボコだったら絶対来ません。それに夏は涼しいですね。ですから、我々は「にかほは、いいな」とすぐにわかりました。だから、選手たちも伸び伸びしながらサッカーに集中できただかたと思っています。確かに小さなまち、田舎ですけど、それは別に問題じや

ないです。

奥寺康彦氏（55歳）

秋田県鹿角市出身の現、株式会社横浜FC代表取締役会長兼ゼネラルマネージャー。当市には、横浜FCサマー・キャンプの際に来市。

◆◆◆◆◆

にかほ市は合宿するにはうつつけの所です。自然もいっぱいだし、静かだし、プレーに集中できます。我々が望むのはいいグラウンド施設があるかな

です。これがデコボコだったら絶対来ません。それに夏は涼しいですね。ですから、我々は「にかほは、いいな」とすぐにわかりました。だから、選手たちも伸び伸びながらサッカーに集中できただかたと思っています。確かに小さなまち、田舎ですけど、それは別に問題じや

ないです。

◆◆◆◆◆